

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を越えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

国土交通省の策定した「建設業法遵守ガイドライン」及び「下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等について」に基づく適正な手順を踏み、適正取引を実行するとともに、協力会社等に対して、適正取引の普及啓発と、人材育成等の支援に努める。

### 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

#### ① 価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。国土交通省が策定した「建設業法順守ガイドライン」に基づく適正な手順を踏むことで改めて徹底し、元請・下請間の対等な関係の構築と公正かつ透明な取引の実現を図ります。

#### ② 手形などの支払条件

下請代金の支払いについて、労務費については原則現金で支払います。現金払と手形払の併用にあたっては、現金比率を高める努力をすると共に、手形支払に関する通達等の改正があった場合には、それに応じて支払条件等を見直します。

#### ③ 知的財産・ノウハウ

片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

#### ④ 働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

### 3. その他（任意記載）

#### ① 機械化施工の（ICT 施工）の積極的採用

就業人口の減少や労働者の高齢化という現状を踏まえ、ICT 技術を活用した機械化による

省人化・省力化施工を積極的に推進し、生産性向上と安心・安全な作業環境の構築に努めます。

## ②SDGs への積極的な取り組み

当社では、私たちの行うあらゆる事業活動が持続可能な社会の構築に影響を及ぼす行為であることを強く認識し、SDGs の考えに基づいた取り組みを事業活動各分野において積極的に実践することにより、当社にかかわるステークホルダー全ての幸福の実現を目指すとともに、持続可能な社会への構築へ貢献してまいります。

2022年10月7日

ヒライワアテック株式会社  
企業名

代表取締役社長 丹生谷 智也  
役職・氏名（代表権を有する者）